



2. ウスイロコノマチヨウ 1頭採集（裏面の波状紋により夏型と判断した）。

8月19日 p.m. 0:30 ころ 洲本市上内膳~~一帯~~。

下内膳郵便局の所からしばらく先山を目指して登ると左手に左手に上内膳へ降りる道がある。その道を下って、山を脱け出たあたりの路傍に小さなササ原があり、そこで、ウスイロコノマチヨウを採集した。後翅が少々損傷している。

3. クロコノマチヨウ 1頭採集。

8月20日 a.m. 11:20 ころ 洲本市竹原

柏原山林道の入口（民家が見えなくなる所）は竹藪になっているが、そこでクロコノマチヨウを1頭採集した。翅はかなり破損している。

（こうけつひさし）

一宮町でイカリモンガを採集 大草伸治³

イカリモンガ *Pterodecta felderi* は昼飛性のガ類で、各地で普通に見られるが、なぜか淡路島からの記録はなかった。筆者は1993年10月15日、一宮町尾崎枯木において林縁を飛行する本種を採集することができたのでここに報告しておきたい。



（おおくさしんじ）

コシロシタバの採集記録 堀田 久⁵

コシロシタバ *Catocala actaea* の淡路島における記録例は少ないようである。筆者は昨年8月に、自宅のガレージの壁に静止していた本種を採集したので、記録しておきたい。

5: 〒656 洲本市安乎北谷630

洲本市安乎町北谷, 1♀, 13.VIII.1993

なお標本は筆者が保管している。

(ほりたひさし)

1月に活動するベニシジミ

堀田 久⁵

筆者は本年(1994)1月2日に、洲本市安乎町北谷の自宅付近でシマカンギクの花で吸蜜中の、ベニシジミ *Lycaena phlaeas* (1♀)を確認したので報告しておきたい。近年暖冬の影響で、12月になってもベニシジミはよく活動しているが、成虫では越冬しない本種が1月に活動するのは希である。

なお、1987年1月3日にも、洲本市安乎町北谷で、活動中の本種を確認している。

(ほりたひさし)

ツクツクボウシの遅い記録

登日邦明⁶

ツクツクボウシ *Meimura opalifera* は、淡路島中部の津名町大町周辺では通常8月中旬に出現し、9月上～中旬には鳴き声が聞かれなくなるのだが、昨年(93)は冷夏の影響か、10月11日を過ぎても鳴き声が時おり聞かれたので、参考までに記録しておきたい。

(とびくにあき)

編集後記

▽ '94年度の1号目をお届けします。次号は夏～秋に発行を予定していますので、原稿をお寄せ下さい。

▽ 本年度の会費も2000円です。同封の振替用紙で早めにお問い合わせ致します。(TB)

PARNASSIUS No.40

1994年2月16日印刷 1994年2月21日発行

編集者 登日邦明 発行所 淡路昆虫研究会

〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑235

郵便振替 神戸 7-49591

印刷所 れいめい社

〒656 兵庫県洲本市本町5丁目1-24